

JCD 関東支部 賛助会員（2023 年 12 月現在 入会順）

みはし株式会社	浦部 博正	埼玉県和光市白子 3-26-43 tel:048-464-3112	fax:048-466-1034	http://www.mihasi.co.jp
西澤工業株式会社	西澤 康明	群馬県高崎市上並柳町 445 tel:027-362-6234	fax:027-362-6462	http://www.nishizawakk.co.jp
株式会社本間工芸	本間 克典	神奈川県相模原市緑区長竹 887-3 tel:042-780-0160	fax:042-780-0173	http://www.honmakougei.sakura.ne.jp/
アルプス株式会社	原 康喜	東京都新宿区早稲田南町 33 tel:03-3207-0066	fax:03-5272-0051	http://www.alps-co.com
ソリュート株式会社	奥 弘史	東京都千代田区幸神田 2-7-1 広部ミヤケビル 6F tel:03-5809-2815	fax:03-5809-2816	http://www.esg-japan.com
株式会社日吉屋	平山 大輔	京都府京都市上京区百々町 546 tel:075-441-6644	fax:075-441-6645	http://www.wagasa.com/
株式会社ユニオン	吉田 幸司	東京都江東区白河 2-9-5 tel:03-3630-2058	fax:03-3630-2816	http://www.artunion.co.jp
株式会社ドラフト	長塚 真唯	東京都渋谷区神宮前 1-13-9 アルテカプラザ原宿 2F/3F tel:03-5412-1001	fax:03-5412-1011	http://www.draft.co.jp/
有限会社原田左官工業所	原田 宗亮	東京都文京区千駄木 4-21-1 tel:03-3821-4969	fax:03-3824-3533	http://www.haradasakan.co.jp/
Soranna Avenue 株式会社	ソランナ マルコ	東京都大田区仲池上 2-18-14 グランイーグル II 601 tel:090-8304-1458		http://www.sorannaavenue.co.jp
株式会社オーツー QUON TOKYO	西盛 正知	東京都港区港南 3-4-27 tel:03-6433-1075	WAREHOUSE2F fax:03-6433-1076	http://www.otu.co.jp
株式会社 SIXINCH, ジャパン	乾 敦雄	東京都文京区本郷 2-35-10-1F tel:03-6801-6670	fax:03-6801-6674	http://www.sixinch.jp/
株式会社 GLORY	申東熙	東京都北区浮間 4-23-25 tel:03-3969-2591	fax:03-3969-2592	http://www.gloryad.jp
株式会社 CROWN	所 奈津子	東京都港区北青山 2-10-28 tel:03-3479-5553	1F fax:03-3479-5554	http://www.area-japan.co.jp
株式会社 クラマス TK, B	小渡 庄右門	東京都豊島区東池袋 3-7-9 AS ONE 東池袋ビル 10 階 tel:03-5948-7248	fax:03-5948-7249	http://www.kuramasu.co.jp
アルティ株式会社	北村 健志	東京都港区南麻布 4-11-30 南麻布ビル 1F tel:03-5449-2500	fax:03-5449-2920	http://www.arti-tokyo.com
株式会社サンズ	天本 健太郎	東京都港区浜松町 1-20-8 山市ビル 4F tel:03-6809-2725	fax:03-5733-5939	http://san-z.com/
ルイスポールセンジャパン株式会社	後藤 謙太	東京都港区六本木 5-17-1 アクシスビル 4F tel:03-3586-5341	fax:03-3586-0478	http://www.louispoulsen.com
有限会社早瀬塗装工業	早瀬 竜也	茨城県常総市豊岡町内 3836-1 tel:0297-27-6677	fax:0297-27-6678	http://www.hayasetsosou.com
デュラビット・ジャパン株式会社	川原 永嗣	東京都渋谷区恵比寿西 2-8-4 平層ビル 6 階 tel:03-5428-4605	fax:03-5428-4607	http://www.duravit.co.jp
有限会社桐山製作所	桐山 時男	東京都荒川区東日暮里 2-31-11 tel:03-3802-0005	fax:03-3801-1170	http://www.kiriyama.co.jp
クリヤマジパン株式会社 東京支社	西岡 真穂	東京都千代田区神田錦町 2-2-1 KANDA SQUARE 18F tel:03-5217-3252	fax:03-5217-3256	http://www.kuriyama.co.jp
新興プラスチック株式会社	松田 好且	東京都中央区京橋 3-14-6 斎藤ビルディング 1 階 tel:03-6263-0533	fax:03-6263-0534	https://trans-parency.jp
シンコールインテリア株式会社	藤光 祐	東京都港区西麻布 1-4-26 tel:03-3404-8184	fax:03-3404-3581	http://www.sincol-it.co.jp
株式会社セラミックワン ノベルストーン事業部	黒野 莉恵	東京都品川区南大井 6-16-4 5 階 tel:03-6721-9320	fax:03-6721-9340	http://www.nobelstone.co.jp
関西フェルトファブリック株式会社	村中 平祐	東京都千代田区東神田 1-11-1 KFF BLDG. 7F tel:03-5835-5650	fax:03-5835-5654	http://www.kansafelt.com
株式会社ノミック	井原 健介	東京都中央区築地 3-7-10 JS 築地ビル 7F tel:03-3549-0155	fax:03-3549-0020	http://www.nomic-material.com
株式会社オーシマプロス	大島 亜季子	東京都目黒区下目黒 2-16-11 tel:03-5759-5301	fax:03-5759-5302	http://oshima-pros.co.jp/
野原グループ株式会社	野呂 佑樹	東京都新宿区新宿 1-1-11 tel:03-3355-4261	fax:03-3355-4262	http://www.nohara-inc.co.jp
株式会社アドヴァングループ	佐々木 大輔	東京都渋谷区神宮前 4-32-14 tel:03-3475-0281	fax:03-3475-0280	http://www.advan.co.jp/
株式会社クリブラッツ	新山 裕一	神奈川県横浜市磯子区森 5-21-15 tel:045-353-7891	fax:045-353-7893	http://www.kleeblatts.co.jp
株式会社スズキ	露木 一大	神奈川県小田原市延清 204-9 tel:0465-38-1002	fax:0465-38-1003	
株式会社サノ工芸社	山本 雄一郎	東京都葛飾区西亀有 2-46-12 tel:03-5650-5448	fax:03-5680-0056	http://sanocraft.co.jp
株式会社モザイクジャパン	青木 久明	茨城県常総市水海道高野町 2139-1 tel:0297-30-9152	fax:0297-30-9153	http://mosaic-japan.co.jp
株式会社エニスル	長谷川 孝太郎	東京都渋谷区神泉町 11-8 tel:03-5577-3376	カネヨシビル 3F fax:03-5577-3379	http://www.enisuru.com
株式会社小松物産	馬 松	東京都港区北青山 2-11-14 tel:03-5827-3781	fax:03-5827-3780	https://www.komatsu-trading.co.jp
ゲーテハウス株式会社	香野 明徳	東京都中央区日本橋蛸薬町 1-10-1 tel:03-3668-2451	fax:03-3668-2457	http://www.goethe.co.jp/
株式会社 CGworks	金澤 勇輝	東京都渋谷区代々木 2-1-1 新宿メインタワー 19F tel:03-6625-4796		https://cgworks.jp/
株式会社ワイ・エス・エム	八島 哲也	埼玉県八潮市二丁目 342-1 tel:048-998-3610	fax:048-998-3615	http://www.k-ysm.co.jp
株式会社オフィス・ラボ	豊田 広	東京都中央区日本橋本町 3-3-6 ワカミビル 9F tel:03-6281-9950	fax:03-6281-9952	https://www.officelab-ka.com/
株式会社マテリアルハウス	小出 寛子	東京都大田区仲池上 1-19-3 tel:03-3751-5113	fax:03-3755-0065	https://www.materialhouse.jp/
株式会社シーレックス・ジャパン	高野 光弘	神奈川県横浜市青葉区美しが丘 3-55-2 tel:045-909-1515	fax:045-909-5012	http://www.ceillex.co.jp
株式会社ラ・ルース	相田 秀和	神奈川県小田原市奥原 867-6 tel:0465-38-0538	fax:0465-38-0539	http://www.la-luz.co.jp
リリカラ株式会社	新中 健史	東京都新宿区西新宿 7-5-20 tel:080-3583-7360	fax:03-3369-5715	https://www.lilycolor.co.jp
有限会社野火止製作所	川上 広晃	埼玉県新座市野火止 3-2-48 tel:080-1208-1077	fax:048-481-2304	http://www.nobidome.co.jp/
タキロンマテックス株式会社	片山 普美子	東京都港区港南 2-15-1 品川インターシティ A 棟 15F tel:03-5715-7023	fax:03-5715-7024	http://www.t-matex.co.jp
バステック株式会社	大野 あすみ	東京都新宿区内藤町 1-7 ホラトビル 1F tel:03-6274-8760	fax:03-6274-8761	https://bathtec.jp/
株式会社ボックス・ワン	大塚 信隆	東京都江戸川区西小岩 1-27-12 tel:03-5622-0822	fax:03-5622-0685	https://box1.co.jp/
株式会社ノムラアークス	植田 純人	東京都港区台場 2-3-5 台場ガーデンシティビル 5F tel:080-2272-4361	fax:03-6426-0029	https://www.nomura-archs.co.jp
株式会社イフェクト	桑田 健一	東京都大田区鶴の木 3-12-11 tel:03-6451-9661	fax:03-6451-9662	https://effectcorp.com/
株式会社アービックジャパン	吉田 浩一郎	東京都渋谷区上原 2-19-14 マルくんビル 101 tel:03-5465-1251	fax:03-3469-3308	http://www.arbic-jp.com

本誌発刊をもちまして、紙媒体による機関誌『JCD KANTO』の最終号とさせていただきます。2024 年からは、JCD 関東の HP にて新たなスタートで継続いたします。これまで、執筆、協賛広告等にご協力を頂いた正会員及び賛助会員の皆様には、暑く御礼申し上げます。引き続きのご協力をお願い申し上げます。

JCD 関東支部 編集委員会スタッフ一同

発行人：木村 倫香 / 関東支部長

編集人：大滝 道晴 / 編集委員長



NETWORK
Express

1996.12.10

号外

Contents...

関東支部からのお知らせ 1

関東支部会員の皆様へ

本年も、いよいよ師走に突入してまいりました。
関東支部の皆さま、お元気で過ごしてください。
JCDは、本年より事業年度が渡り、4月1日より3月31日となりました。平成7年12月1日より平成8年3月31日までを調整年度とし、期間の調整をいたしました。一部の会員にご理解がいただけず、多少の混乱が生じましたが、調整年度会費の納入率にもなっておりますので、なにとぞ、ご理解の上、ご協力下さいますようお願いいたします。

さて、私と近藤康夫さんのコンビで、正・副支部長をお引き受けいたしましたからはや、9ヶ月が過ぎました。関東支部新選出による委員会の構成後、各、正副委員長と委員が決定し、委員会の活発な運営と活動が期待されます。会員の皆さまの積極的なご参加が委員会活動の励みとなりますので、強力なバックアップをお願いいたします。

去る、11月7日から9日の3日間、「APEDA日本・福岡」が福岡市博多駅前のホテル日航福岡で開催されました。JCD創立35周年の記念事業の最大イベントとして位置づけられるべきものであったと思いますが、JCD35周年記念行事は、諸事情により、APEDAと切り離して、APEDA参加者を対象とした「JCDフォーラム35」と、「JCDゴルフ35」が行われました。

本部から改めてご報告があるかと思っておりますので、詳細は省略させていただきます。関東支部では、40名の正会員と、6社の賛助会員の参加登録が得られました。昨今の社会情勢から考えますと、誠に感謝すべき目覚ましいご協力の賜物と認識しております。次に、APEDA本部事務局各で発表いたしました事業計画の進捗状況について、ご報告いたします。

1・関東支部事務局の独立体制による活性化

11月30日（土）9時30分より＜BR本部3＞の5階に事務局を引っ越ししました。関東支部専用のコンピューター（マッキントッシュ）とコピー・FAX機、電話等の機器が納まり、会議室はテーブル席12人、補助席5～6人の収容力があります。関東支部の会議室はもとより、本部会議の一部はここで行われることとなります。事務局員は安時久子さん、約半年間、神川事務局長、高田局長の指導を受け、一人立ちで運営してください。土日祭と（水）が休みとなりますのでよろしくお願ひします。

2・関東支部財政の活性化

10月末日で過去及び、前年が5名あり、現在、300名が関東支部の正会員となっております。会員数と財政は常に、相関関係にあり、会の運営と活動に大きな影響をもたらします。退会者をなくし、入会者を多くする。単純なことですが、昨今の社会情勢下では非常に困難なことと認識しております。しかし、前向きに考えたいと決意しております。どうぞ、退会を考えている方がいらっしゃいましたら、お知らせの理事或いは、正副支部長宛に、ご連絡をいただきたいと思います。会員として踏みとどまっていただけよう、お互いに関し合えればと、願っております。

また、入会を希望される方が知人或いは、近所にいらっしゃる是非、仲間として参加していただけるよう、お願いいたします。
平成9年度は、会費の納入率を100%としても、約100万円の事業或いは賛助収入が公衆となります。各委員会の皆さまもご協力をお願いして、目標の達成に努力したいと願っております。

1996 年 (27 年前) の機関誌の原点です。当時は、[NETWORK Express] の名称で、関東支部の役員のかかしお名前がずらり。

2023
1225

JCD kanto publishing

network

OFFICIAL NEWSPAPER/ JCD KANTO BRANCH
18 design symposium 2007
PANEL DISCUSS
「今の環境デザイン、どう
JCD KANTO
2007・Dec・31
http://www.jcd-kanto.org/

MUJI HOTEL
GINZA

「あのことろ...」

J C D 関東機関紙最終号にあたりこれまでとは趣向を変え会員の皆様の秘蔵写真をお借りし掲載させていただきました。



羽隅 斉明：学生時代のアルバイト先でのワンショット。いや、中森明菜とのツーショット！



星 明臣：ジャニーズやってた頃？です。



原 康喜：「3歳頃の僕、お初炭酸飲料に♪現在は別の炭酸飲料に♡」



棟方 義雅：25歳のころ、場所は都内のライブハウスで月に一度オリジナルの曲を創って歌っていました。まだ独身の頃の遠い昔の頃です。



吉村 麻里：生後5ヶ月の頃。捕まり立ちが出来る様になり嬉しくてたまらない様子。小さい頃は良く男の子と間違えられていました。



大滝 道晴：「私と近藤康夫氏」東京造形大学時代の康夫ちゃんと、関西旅行での一コマ。康夫ちゃんは坊主でなかった時です。



ジム・アイバンオフ：日本では、いつも楽しい人との出会いがあります。慎吾くんもその一人です。20年前のある番組企画のロケ現場にて。



水谷 晶人：水谷晶人 37年前の1986年（大学生21才）六本木にあった人気ディスコにて。河合その子に似てると言われてた…



雲野 一鮮：5年前。fRAum®（フラウム）を結成し、空間、アート、ファッション、インテリア、プロダクト、伝統工芸から先端技術まで、幅広い領域で展開していく。



村上 敦：「24年前の建築旅の途中。1999年バルセロナのバックパッカーで出会ったのは全員建築学生だった。」



小田 秀樹：32歳の頃に「社員旅行」で訪れたシンガポールの市内観光の写真です。



松田 好且：インテリアデザイナーを夢見てT型定規を担いで通学していた最後の10代。



福田 裕治：「幼い頃の自分」生まれた場所は東京都目黒区中目黒、昭和35年くらいの時に目黒川の河川敷で父親に撮ってもらった姉達との写真です。当時の目黒川は川の側まで行けました。銭湯の帰りで夕涼みをしている所でした。背後に映っている鉄橋は東横線、今では河川敷も整備され、桜の名所になっていますね。



奥 俊輔：高校の実習でマグロ漁をしている時の一コマ。3ヶ月間船上生活で地獄も味わいましたが、いい思い出です。



木村 倫香：「社会人になりたての頃、7年前に他界した父と。」



新藤 力：5歳、「神童」と呼ばれていたころ。今も「新藤」と呼ばれています。（1959年広島市「天満屋」屋上にて）



品川 正之：若かりし頃、事務所内のワンカット。まだドラフターでした。



山辺 勝行：TOTO入社2、3年目の24、5歳の職場《金具設計部》（水栓や衛生陶器付属金具の設計）で。50年前になります。写真さがしましたが、50年前で不鮮明&セピア風。確か長髪ばやりでした。

JCD 定時総会 IN 富山

こんにちは。北陸支部長の木村です。令和五年度の定時総会 IN 富山のご報告をさせていただきます。まず関東支部からもたくさんの方に総会にお越し頂きました事を感謝申し上げます。本当にありがとうございました。参加されたたくさんの方から「良かった」とお声掛けを頂きました。皆さん楽しんで頂けたと感じ安堵しております。

では、ご参加されなかった方のために簡単に概要を書かせて頂きます。5月26日（金）はゴルフ組と建築ツアー組に分かれて楽しんで頂きました。ゴルフ組は富山メンバー併せて6名参加。県内屈指の難コースと言われる呉羽カントリーにてラウンドして頂きました。コース攻略に苦労したとの事で、前夜祭の時にはお疲れの様子でした。建築ツアーは16名のご参加でした。私は建築ツアーのアテンドとしてバスを運転しましたが新高岡駅の駐車場でお車と接触するというハプニングを起こしてしまいまして、皆さんには大変ご迷惑をお掛けしましたが、皆さんの迅速な行動とご協力のおかげでその後のツアーも無事に廻る事ができました。まずは錫の加工品で有名な能作さんの本社を見学。普段は入れない社員食堂なども見せていただきました。次に JCD 正会員のモメンタムファクトリーオリイさんの着色工場を折井氏の案内で見学。科学反応による銅や真鍮製品の独特な発色手法を見学し、少しではありましたが着色体験もさせていただきました。富山はアルミをはじめとして鑄造の歴史が古く、三協アルミや YKK の発祥の地でもあります。地域で培ってきた文化と最新技術の融合を感じて頂けたのではないのでしょうか。その日の夜は44名の方にご参加頂き前夜祭を富山駅前の居酒屋「順風満帆」にて開催しました。各地から集まって頂いた皆様と交流が出来、わやわやとなりましたがこれぞ JCD という楽しい前夜祭だったと思います。

5月27日（土）定時総会を富山問屋センター流通会館にて開催しました。大谷幸夫氏の設計でダイナミックなキャンチレバー建築の施設です。総会後の懇親会を同施設内にある「トトン」にて実施しました。トトンは正会員である米三の増山氏が運営する店舗でして、リユース家具の販売とコワーキングスペース、カフェなどがあります。今回はここを全面的に貸し切った懇親会です。料理は富山でもあまたの受賞歴のあるシェフ濱多雄太氏に依頼。魚をメインとした創作料理を楽しんで頂きました。また日本酒の飲み比べコーナーや鰯の鰯の食べ比べコーナーも設置。皆さんに富山の味を堪能頂きました。開会に際して富山の和太鼓集団「ダルク」さんによる迫力ある和太鼓演奏も楽しんで頂きました。二次会会場は街中まで移動して、ガラッと趣が変わった「ハナミズキの部屋」でした。こちらは正会員の種昂氏の行きつけの店でして、無理を言ってフロアを貸切ってもらいDJ演奏も楽しんで頂きました。その後の三次会、四次会は各々皆様で富山ナイトを楽しんで頂けたみたいです。私は三次会の途中から記憶がなく、翌朝はジャケットのまま自邸のリビングで目覚めました。



総括としまして、今回富山で開催できて本当に良かったと感じております。実は金沢開催にしようか迷っていましたが、北陸と言えば金沢の方が有名です。しかし北陸支部正会員20人中18人が富山です。金沢開催となるとホテルなどをお願いして内容などは任せっぱなしになると思いました。今回、せっかく皆さんに来て頂けるなら手作りでもいいので出来るだけ心のこもったおもてなしをしたい。その地域の特徴を感じて貰いたい。と悩んでいましたが前回開催地の北海道支部長の高橋さんから「気にしないで富山でやればいい」と背中を押して頂き、勇気をもって富山開催としました。建築ツアー・懇親会会場・料理・司会・サービス係・余興・二次会など、ほとんどを JCD 北陸メンバーのツテで手配し、設営や片付けなども皆で協力して実施しました。結果として手作り感満載の総会・懇親会となりましたが、参加頂いた皆さんに喜んで頂けたと感じております。また、この総会を機に北陸メンバー同士の絆が深まりました。

年初からミーティングを重ねて、本当に大変な日々でしたが何かを協力して成し遂げるという経験は団結力を高めます。一昨年の理事会で「北陸を応援するために次の総会は北陸で！」と決まった時は心の底で「大きなお世話だ！」と叫んでいましたが、今は反省しております。若い支部との事で本部予算からも援助を頂きました。そういう意味でも本当に応援されていると感じます。課題もあります。金沢メンバーの増強です。20年後に来るであろう次の北陸での総会は金沢開催できるようにメンバー増強に努めます。最後に、多大なる協力を頂いた北陸メンバーには本当に感謝です。そしてまだまだ若い支部で若いメンバーばかりの北陸ですが、温かく見守って頂ける関東含めた全国の JCD メンバーの皆様に感謝です。またどこかでお会いした際は気軽にお声掛けください。楽しく吞みましょう。ありがとうございました。

そして来たる2024年の関東での総会ですが、まだまだ計画中ではありますが、前日または（希望を聞いて）総会翌日に、建築ツアーを2パターン考えております。総会は、浜松町あたりの会議室にて行わせていただき、懇親会は船を貸し切り東京湾を一望するディナークルーズを計画しております。お天気だけが心配です。どうぞお楽しみに。

（文：北陸支部長 木村 嘉秀／関東支部長 木村 倫香）



全国支部長会議 東北支部

昨年の富山に続いて、今期も全国支部長会議がみちのく仙台で開催されました。11月10日午後2時30分仙台駅2階ステンドグラス前に各支部長が集合、東北支部長大塚さんの差配のもと一行は会議会場のある松島ホテル大観荘に向かいます。到着後しばし休憩ののち会議室に集合。大塚支部長の挨拶を皮切りに会議は進んでいきます。話し合われた内容としては、まず今年度から始まった JCD デザインサーキットについて各支部の取り組みの状況の報告。今年開催予定の、沖縄、中国、中部、関東、東北各支部とも順調に準備が進んでいるようです。なかでも中国支部長藤坂さんが近々開催予定の“JCD デザインサーキット中国”の内容をフライヤーをもとに説明されたおり、内容にあった支部デザインアワードについて大塚東北支部長、日下四国支部長などが支部でのアワード開催の方法論など現在支部アワードを実施している山里沖縄支部長、鳥居中部支部長を交え助言を求めました。関連して他団体との合同事業のありかたや、セミナーなどの動画配信の方法について意見交換が行われました。会議も終盤に差し掛かり、小田支部統括部長より会員増強のため各支部年間2名以上の入会を努力目標とする案が提出され承認されました。忸度のない率直で真摯な意見交換ができた有意義な会議の後は、このリアル全国支部長会議のもう一つの目的である実際に会って懇親を深める場である食事会に向かいます。新鮮な和海鮮バイキングと東北の美味しいお酒を堪能してお決まりのカラオケコースを通過、夜は更けていきました。11月11日、2日目は松島の史跡訪問と東日本大震災のその後の町を視察する旅です。瑞巖寺は正式名称を「松島青龍山瑞巖円福禅寺」といい、現在は臨済宗妙心派に属する禅宗寺院です。松島は沖にある島々のおかげで津波の被害はそれほどでもない聞いていましたが、参道の杉並木が津波の塩でほとんど枯れてしまったのを見て、こんなところまで津波は迫ったのかと驚きは隠せません。円通寺の紅葉はうわさ通り美しくみなさん魅了されています。松島湾の島々の中を遊覧したのちは、東日本大震災の被害の大きかった南三陸町に向かいます。南三陸町には震災後、地盤かさ上げ工事の最中に訪れましたが、工事担当者の方が3年後、5年後の南三陸を見に来てくださいと誇らしげにおしゃっていたのが心に残っています。南三陸3・11メモリアルなどもできて、町は立派に再興されているようですが、さんさん商店街は以前の活気が薄れているような気もしました。この地を初めて訪れた人にとって震災遺構以外は津波で壊された街を想像するのは難しかったかもしれませんが、町は大きく変わっていたのです。ここで遠距離組とはお別れで残留組は坂茂氏設計の駅舎のある女川に向かいます。女川は若者が中心になっていち早く復興が進められた町で、この町には津波避けの堤防がありません。女川駅からシルビア・ハマテラスを通して眼下に海をまじかに見ることができます。津波を拒否するのではなく共存を決意した被災地の中では稀有な町です。女川を発ち午後5時過ぎに仙台駅につき三々五々お別れとなりました。全国の支部長さんたちと和気あいあい協調できたことに、感謝！大塚東北支部長の周到な準備とおもてなしに、感謝！感謝！です。

(文：関東支部副支部長 品川 正之)



JCD design circuit in KANTO

JCD design circuit とは、全国10支部中、毎年5支部ずつトークイベントを行なっていく新たな試みです。若手デザイナーや学生など次世代へ訴求するべく「今」を駆けるゲストを迎えていきます。関東支部での記念すべき第1回目は、デザイナー・建築家の山下泰樹さん(DRAFT Inc.)をお迎えして2023年11月27日に東京デザインセンターのガレリアホールにて行われました。モデレーターは共通の友人、クライアントを持つ当小坂竜副理事長。100名以上の観客の前で2人の白熱したトークは2時間にも及びました。その内容をチラッとご紹介します。「ALL HAPPY BY DESIGN」これは山下さん率いるDRAFTの掲げる理念だそうです。理念に基づき「デザインの力で世界にHAPPYを届ける」という思いが詰まった作品を紹介してもらいながら、山下さんのデザインに対する思いを垣間見る事ができました。そして2時間のトークを通して印象に残った言葉が2つありました。それは「記憶」と「造形」です。まず「記憶」について。あるレストランの改装では「記憶」の美化について語られました。元の形状から大きく変えるのではなく、きっとそうであったであろうという人々の美化というデフォルメを読み取り、それにそっと近づけてやるというプロジェクトでした。またアフターコロナで感じたこととして「記憶」に残る空間を作り続けたいとも。スマホ1つで何でも出来る利便性とは別に、リアルであることが「記憶」となり豊かさに繋がるという強い哲学を感じました。そして「造形」について。興味深かったのは、同じデザインを切り口にしているとはいえ、建築・インテリア・プロダクトデザインのアプローチが違ったところ。インテリアは料理やファッションと同じように、どのように調和するのか？を意識しているのに対して、建築・プロダクトは「造形」的であること、機能よりもフォルムを大切にしているということでした。あるインテリアのマテリアルを決める際はまず色を抽出し、それに合うその他マテリアルを当てていき、空間に落とし込むそう。一方、ある建築プロジェクトでは遠景の立面スケッチから、その一部をいきなりモデリング。同時に平面プランを検討しているとはいえ、優先順位が「造形」的であることが揺るがない手法でした。トーク終盤に今後やってみたいこととして、空港とサッカースタジアムを挙げられました。記憶に残る造形的なプロジェクトを夢として語っておられたのは、普段の思いも、今回のトーク全編通しても変わらないデザイン哲学に基づいているんだなと感じました。なお、この模様はYouTubeのJCDチャンネルでもご覧いただけるように準備中です。

(文：関東支部副支部長 村上 敦)



『夏休み！親子 de わくわくワークショップ』 ～こどもは発想の天才～

Soda 委員会：遠藤 真紀子／和田 篤史

夏休みも真っ盛りの8月10日・11日の2日間、今年も『夏休み！親子 de わくわくワークショップ』が開催となりました。東京ミッドタウン・デザインハブが主催・企画・運営する「東京ミッドタウン・デザインハブ・キッズ・ワークショップ」のプログラムのひとつで、六本木の東京ミッドタウン・タワー5階にあるデザインハブ リエゾンセンターで行いました。今年のテーマも昨年に引き続き「あったらいいな、こんな店」。会員の方々から提供頂いた本物の素材を使って、好きな店の模型を作りました。リピート参加のお子さんや、当日飛び入りの参加もあり、小学生と保護者の方々合計20組がワークショップを楽しみました。はじめの挨拶の後に「光の効果」のレクチャーがあり、照明の色温度の高低による見え方の違いを学びました。ワークショップでは1チームに講師1～2名が付き、150分間の制作時間の中でアドバイスと制作補助を行いました。完成後、工夫したところや難しかったところ、楽しかったことなどチームごとに発表しました。まとめの挨拶の後には、早くも「来年も参加したい！」とお子さんの手がたくさん挙がっていました（参加講師：21名）。元々興味のあったSODAに初めて参加させて頂けて嬉しかったです。子供達の自由なデザイン発想をお手伝いするという大役にプレッシャーはありましたが、先輩講師の方々の励ましも頂いて楽しみが勝りました。松田さんと私で講師を担当させて頂いたのは、昨年に引き続きリピートで参加してくれたという女の子とお母様でした。受付でお迎えして希望を伺ってみると「お店を球面で作りたいと言っているのですが…」とお母様が遠慮がちに仰いました。作れるか分かりません（泣）とは言えなくて「———とりあえずやってみましょうか！」と口に出てしまっていたのでした（笑）。作りたいお店は「宇宙屋さん」。だから球面なのだと納得しました。素晴らしいことに分かりやすいイメージスケッチを用意してくれていました。「宇宙屋さん」には宇宙食や無重力体験装置が販売されていて、全て宙に浮いた状態でディスプレイされているのだそうです。レジまで宙に浮かせたいとのこと、さすがの自由な発想に脱帽です。壁の球体部は地球儀の型を参考にして透明のプラ板で作りました。床はスチレンボードをカッターで切ってもらいシートを貼って仕上げました。豊富に用意されているシートの中にはちゃんと宇宙らしい色と柄があって、それを一緒に探していくのも宝探しのようで楽しい作業でした。半透明の青色ドームにメタリック調の床、糸で吊られ浮遊する商品とレジ。制限時間一杯でオーダー通りの仕上がりになったと思います。満足した表情を見せてくれました。講評会では、各グループの作品を見せて頂きながら製作秘話が聞けたのは興味深く、講師の先生方がどのようにデザインに関わり、お子さんを導いているかについて勉強になりました。また自身の作品を自分の言葉で皆さんに発表するという、お子さんにとってきっと大切な学びがあったのではないかと思います。来年も出たい！と手を挙げるお子さんが何名もいらっしゃいました。貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。

（文：遠藤 真紀子）

私が担当した子は小学一年生の男の子でした。「ロボットのお店を作りたい」そう言って、素材を探しに行くと、次々とお店のイメージが膨らんでいったようです。お店の床には色鮮やかなタイル、壁にはゴールドの壁紙。壁の色はロボットのようなメタリック感をイメージしたようです。材料を手にとると、まるで最初から決めていたかのように次々とお店の構想が出来上がっていきました。他にも、お店は吹き抜けの有る2階建てにして、2階へはみ出るような大きいロボットと小さいロボットを陳列。他にもロボットの頭、目や盾をパーツで売りたい。ロボットをパーツ売りする発想はさすがでした！壊れたロボットの部品をすぐに修理できるように交換パーツも一緒に売るようです。このように男の子のアイデアが形になっていき、そこへさらに新しいアイデアが出てきて・・・次々とお店がアップデートされていきました。子供の自由な発想にはとても関心させられました。制作作業が終わって各グループの作品プレゼンテーションを行いました。小学生1年生から6年生と年齢はさまざまでしたが、工夫した点など自信をもって話をされていて、頼もしさを感じました。プレゼンテーションが終わって、どの作品も大人では思いつけないようなお店を作っていました。子どもは発想の天才だと感じたイベントでした。

（文：和田 篤史）



ロボット店



space(宇宙屋)



制作会議



みんなで総力戦



自慢の作品をプレゼン中



green



370 Burger（スナオバーガー）



宝石店



香水屋



とよスイーツ



ケーキ屋



シロクマのいるお店



すし屋



あいり & あっち BOOK STORE



森のパン屋さん



森のカレー



かき氷屋さん



熱弁を振るう村井さん



力作制作中！



急ピッチでロボット製造中



PRODUCT OF THE YEAR 2023

◆二次審査◆

10月27日（金）15時から第17回目となるプロダクトオブザイヤー（POY）2023の二次審査が、東京デザインセンター5Fのクラフテックギャラリーにて開催されました。賛助委員会の活動の中心となりますが二次審査を取り入れたのは今年で3回目となります。開催に至るまで、委員会の中で前回の反省点や改善点を議題とし、また二次審査の審査員をどなたに依頼するかなどを話し合いました。審査委員長は窪田理事長、審査員に折原理事、白木ゆみ香正会員、外部から㈱日経 BP、日経デザイン元編集長の花澤様に加え、新たにプロダクトデザイナーの北川大輔様に依頼しました。また委員会のメンバーも新たなメンバーを加え、外部から灯り計画の三原様にもご協力を頂きました。今回の POY は改善点がいくつかあります。一つ目は一次審査におけるエントリーにおいて製品カテゴリーを設けた点です。賛助企業の製品、技術、サービスは多岐にわたります。ある程度のカテゴリーに分け、その中で選定していただいた方が正会員の方も投票がしやすい、二次審査に進む製品群も偏りがなくなると考えました。これは以前から考えていたことでしたが窪田理事長からの助言もあり今年から導入しました。二つ目は二次審査のプレゼンと質疑応答の時間を長く設けました。前回まではプレゼン3分、質疑応答3分で行いましたが時間が不足気味でした。時間になるとタイムキーパーが卓上ベルを鳴らすのですが、あっという間に3分が経ってしまう印象でした。そこで今回はともに5分とし計10分に設定しました。開催時間もその分2時間ほど早めましたが丁度良かったのではないかと思います。三つ目は折原理事からの要望もあり取り入れたのですが、全プレゼン終了後の審査員同志の意見交換です。非常に難しい判断が必要な審査を依頼しており、各審査員の視点や考え方が異なるわけですが、意見交換は審査員の方々にとって必要なことと感じました。また採点集計後にも再度意見交換をしていただき最終決定としました。更に審査員特別賞の枠も必要に応じ準備しました。さて二次審査に進んだ入賞製品の話に移しますが、前回もそうでしたがサステナブル性のある製品がグランプリ、準グランプリの候補にも該当する製品が12製品中4製品ありました。今後もこの状況は続くのではと感じています。グランプリ、準グランプリ、サステナブル・プロダクト賞を受賞製品と呼んでいますが、ここ数年新しく賛助会員になった企業製品が



グランプリを取るというジンクスがあります。今年はどうなるかと思っていましたが今年も Knoll Japan の Plective Aline が見事グランプリを受賞しました。ジンクスですので今後どうなっていくか注目です。運営側としてビデオカメラの不調などトラブルもありましたが、今年も無事に終了することができました。各賞を受賞された企業の皆様には改めてお祝い申し上げます。私も賛助企業の一人ですので羨ましい限りですが、会場での受賞製品発表の時に歓声があがったときはこの活動の意義は大いにあると感じました。掲載写真にある通り、各社のプレゼンに対し実際に審査員が製品を手に取り製品を知っていただく。これだけでも営業活動となります。賛助企業の方はその一歩となる POY への応募を是非ご検討いただければと思います。参加することで正会員との結びつきや賛助同志の情報交換など今後の業務に活かされるはずです。今後の予定として、PR タイムズ掲載、商店建築、日経デザインへの掲載、来年1月の賀詞交換会での入賞12製品の表彰、3月のジャパンショップ2024のJCDブース内展示と続きます。来年も関わる方のご意見を活かしより良い POY にしていきたいと考えています。運営にご協力いただきました審査員、正会員、賛助委員会のメンバー、事務局、関係した皆様へこの場をお借りし御礼を申し上げます。今後も尽力してまいりますので引き続きご協力のほど宜しくお願いいたします。

（文：賛助委員長 羽隅 斉明／㈱ニップコーポレーション）

【POY2023 二次審査結果】

◆グランプリ：Plectere Aline Koll Japan 株式会社

◆準グランプリ：DNL 本体幅5mm 極細 LED モジュール MU-LED DN ライティング株式会社

◆準グランプリ：SAKYU 株式会社アダル

◆サステナブル・プロダクト賞：NUNOUS for SIGN セイショク株式会社

◆審査員特別賞：slice mosaic 株式会社モザイクジャパン



令和 5 年 国土交通大臣表彰受賞（建設事業関係功労） 受賞報告



JCD 副理事長 小坂 竜 氏が、今般（7 月 10 日）令和5年国土交通大臣表彰を受賞されました。氏の国内外に及ぶ商環境デザイン業界における永年の功績が広く認められた結果です。本当におめでとうございます。JCD に於きましては、10 名の正会員がこの栄誉に浴することになりました。本賞における、JCD の定席が安定してきたと受取っております。功労者選考委員会は、JCD の一層の社会的認知度向上を目指し、大臣表彰候補者を引き続き推薦してまいります。

（文：功労者選考委員長 / 星 明臣）

令和 5 年度 関東支部 花火大会・BBQ イベント

8 月 2 5 日、8 月の金曜日に開催された熱海海上花火大会の日程に合わせて JCD 関東支部のメンバー 3 0 名が真鶴港に集合。真鶴の「宵」にて懇親会、毎年お世話になる店、今年は料理のボリュームをアップし、食べ切れないほどの海の幸を満喫しました。1 9 時過ぎに乗船し、1 時間ほど夜のクルージング。熱海沖では、たくさんの船がベストポジションを求めて細かく移動しているが、我々の船は海上に規制ラインぎりぎりの場所を保持。春、夏、秋、冬と 1 0 数回開催されていて、打ち上げ時間は 2 0 分～2 5 分程度だが、7 月と 8 月は 5,000 発が打ち上がる。頭上で展開される様々な形状の花火に、全員大満足！クライマックスの「大空中ナイアガラ」、熱海はすり鉢形状ということもあり、花火の音が反響し体中に響く。この体感現地でしか味わえない、私もその虜になった一人ですが、来年も同じように開催予定なので、体感されたい方は是非参加してみてください。



花火大会①



花火大会②



花火大会③

7 月 29 日、今年は豊洲のワイルドマジックで JCD 関東支部 BBQ イベント。関東支部賛助で 10 年以上行っているイベントとなります。初期は神奈川方面の会場で、川魚の釣りも出来て釣った魚、持ち込んだ肉、海の幸を BBQ で楽しんでいましたが、移動時間などを鑑みて近年は都心に近い会場で開催しています。都心から 30 分ほどで「手ぶら BBQ」一言で言うと『楽』、ドリンクコーナーに行けば、フリーで好きな飲み物が出てくる。テント 2 台分の場所を借りて、肉、野菜、焼きそば。各焼き場にて必然的に表れる「火起こし大臣」「焼き将軍」。関東支部の賛助、正会員が入り混じって行われる様は、町会の飲み会にしか見えない。私が JCD に入会して 15 年、最初の頃は、賛助会員と正会員の間に、何か見えない壁があった記憶がありますが、この数年で JCD 内も賛助、正会員と言う区分けが無いような雰囲気になり、共に JCD を盛り上げて行こうって、まさに「ONE TEAM」毎年参加者が増えてくれる事を祈って、レポートを締めさせていただきます。

（文：正会員 藤原 巧）



BBQ①



BBQ②



BBQ③

令和 5 年度 第 2 回 / 第 3 回・関東支部ゴルフコンペ

令和 5 年度・第 2 回関東支部ゴルフコンペを 7 月 6 日（木曜日）・東京湾カントリークラブにて参加者 14 名で開催をいたしました。天気は曇りのち晴れの天気で昨日迄の雨の為、カートのフェアウェイ乗入れは今回もダメで、シニアの参加者が数名いるので残念でした。今回は女性の初参加者が 2 名いたので少し華やかさがあって楽しい時間を共有させていただきました。コンペに参加してくれる女性の方は皆さん巧いので男性陣が奮闘しないと負けてしまいます。今回もそのような結果になってしまいました。白マークと赤マークの長さのハンデはありますがそれだけではない様です。今回も予定時間に表彰パーティーを開催する事ができ、初参加の女性陣が上位を独占して男性陣の不甲斐無さを露呈してしまいました。今回もスタートとパーティーの写真を掲載いたします。皆さん楽しそうな顔でなによりです。

- 優勝： 藤原 巧
- 準優勝： 山本 よし恵
- 三位： 白木 ゆみ香
- ニヤピン： 久保田 /7H・松岡 國夫
蔵 波 /2H・井口 幸蔵
- ドラコン： 久保田 /9H・山本 よし恵
蔵 波 /9H・新宮 和行

令和 5 年度・第 3 回関東支部ゴルフコンペを 10 月 26 日（木曜日）・東京湾カントリークラブにて参加者 12 名で開催をいたしました。当日は、ゴルフ日和でフェアウェイへのカート乗入れも可能な天気でした。今回はグリーンティー使用のシニアの方と女性の方が不参加の為、3 組と少し寂しい参加数で廻りました。バンカーは相変わらず砂が少なくサンドウエッジを旨く使わないとホームランになります。クラブハウスは設備関係も含め、以前発生した千葉地震の影響を受け一部使用が出来ない不便が有りましたが、今回は綺麗に改装をされて見違える程綺麗になっていました。組数が少なかったので、表彰パーティーも予定時間に開催する事ができました。今回は久しぶりに参加いただいた方が優勝して楽しい時間を皆さんで共有する事ができました。次回は来年 4 月と 10 月の 2 回開催でコースも同じ施設を使用させていただきます。関東支部の正会員及び賛助会員の皆様と JCD に興味のある方もご参加ができます。

- 優勝： 青木 久明
- 準優勝： 藤原 巧
- 3 位： 井口 幸蔵
- ニヤピン： 久保田 /2H・矢野 健一
- ドラコン： 蔵 波 /9H・藤原 巧
久保田 /9H・井口 幸蔵

今回、元関東支部長の大道寺さんから幹事をまかされてから始めてファイルを整理してしましたら古い資料が出てきました「関東支部ゴルフコンペ」は昭和 39 年 5 月 26 日川越カントリークラブの開催が始まりで途中から賛助会員の冠杯に一部名称変更して協賛などをお願いしていた様です。資料では平成 6 年 9 月 27 日の開催が 162 回になっており、大道寺さんから小田までに 73 回の開催しておりますので、今回で 235 回の開催になります。随分と長い歴史の有るコンペだと改めて感心をさせられました。このような歴史有るコンペを絶やす事が出来なく成りましたので是非会員の皆様参加をお願いいたします。資料を今回は掲載いたします。

（文：正会員 小田 秀樹）



7 月 6 日集合写真①



10 月 26 日集合写真①



参考資料①



7 月 6 日集合写真②



10 月 26 日集合写真②



参考資料②

関東支部
 新入会員（2023 年 12 月現在 入会順）



Lui Peggy

メルシー・メディア コーポレーション 代表取締役・編集長
 〒141-0031 東京都品川区西五反田 7-10-4 ルーシッドスクエア五反田 テッドアソシエイツ内
 TEL：03-5740-8197 / 080-7654-2386 FAX：03-5740-8198 E-mail：peggy.lui@merci-magazine.com
 URL：http://www.merci-magazine.com / http://www.skydesignawards.com

主な業績：メルシーマガジン編集長（デザイン情報誌 2013 ～）、ONE STORY（デザイン情報タブロイド 2022 ～）、SKY DESIGN AWARDS（国際デザイン賞主催 2019 ～）メディア出版、ブランド戦略、マーケティング / イベント戦略、ブランド・パートナーシップ、イベント企画・実施、デザイン・商品開発（デザイン・サービス）

資格・他：メルシーマガジン編集長、スカイデザインアワード創業者、日本空間デザイン賞 2021 審査員、日本空間デザイナー支援機構理事



Masa Hayami

未来芸術家・アーティスト / 老人・幼児育児介護士
 〒140-0002 東京都品川区東品川 1-33-10 Terada Art Complex1 2F
 TEL：090-8037-0244 E-mail：masamassa70@gmail.com URL：https://masamihayami.tokyo/

主な業績：

1. “宇宙商社 Space BD 株式会社”、2. “Rolf Benz Tokyo”、3. “Aston Martin”、
 4. “フランスシャンパン Pommery”、5. “イタリアシャンパン Bottega”

資格・他：

二級建築士、インテリアコーディネーター、日本フラワーデザイナー級、
 プライダルコーディネーター



久兼 将弘

現事務所 株式会社乃村工藝社 A.N.D. / FOO 現職 ルームチーフ
 〒107-0062 東京都港区南青山 6-14-11 ROJU MINAMIAOYAMA2F
 TEL：080-2272-4356 FAX：03-6419-7139
 E-mail：m.hisakane@nomura-g.jp URL：www.foodesign.jp / www.and-design.jp

主な業績：

1. “Guangzhou Aoti Project Club House”（レジデンス付帯施設、中国 広州、パブリックエリア、2022 年）
 2. “Les Trefles DOMINIQUE BOUCHET”（レストラン、名古屋、インテリアデザイン、2019 年）
 3. “東京會館 日本料理 八千代”（レストラン、東京、インテリアデザイン、2019 年）
 4. “三菱 UFJ 銀行大阪ビル GALLERY LOUNGE”（ギャラリーラウンジ、インテリアデザイン）
 5. “The Tender House”（プライダル、東京、インテリアデザイン、2015 年）



武田 慎平

株式会社乃村工藝社 デザイナー
 〒135-0091 東京都港区台場 2-3-4
 TEL：080 - 2272-5767
 E-mail：s.takeda@nomura-g.jp URL：https://www.nomurakougei.co.jp/

主な業績：

1. “マークイズ みなとみらい”（商業施設、横浜市、環境デザイン、2013 年）
 2. “そごう西武渋谷店 A 館エントランスアートゲート”（商業施設、渋谷区、デザイン・設計、2015 年）
 3. “DENSO 本社 VIP エントランスロビー”（オフィス、刈谷市、デザイン・設計、2018 年）
 4. “日野自動車本社 1 号館エントランスロビー”（オフィス、日野市、デザイン・設計、2019 年）
 5. “SCRAP MATERIAL UPCYCLE PROJECT”（オフィス、港区、デザイン・設計、2023 年）



藤原 巧

TAKUMI works
 〒177-0042 東京都練馬区下石神井 3-9-10 ガーデンハウス・ベル石神井 1-101
 TEL：03-5923-6505
 FAX：03-3904-1920
 E-mail：t.fujiwara@plando-group.co.jp

主な業績：

店舗・オフィス・集合住宅 他、左官プランニング



鈴木 祐子

MAN & SCENE + KAYO & SCENE
 〒156-0057 東京都世田谷区上北沢 4-29-20 ジョカトーレ 7 301
 TEL：090-3504-9446
 E-mail：yuuko_suzuki@mac.com



山岸 布実

山岸左官工務所 東京支部 フミシャカン
 〒114-0014 東京都北区田端 5-3-19-201
 TEL：090-3779-8154
 E-mail：fyamagishi706@gmail.com



玉田 黄太郎

タマダ照明
 〒195-0061 東京都町田市鶴川 2-13-2 エディフェシオ 88 301 号
 TEL：090-2722-4949
 E-mail：icloudnagi2005@icloud.com



大川 祐介

ユニオンテック株式会社 代表取締役
 〒107-0061 東京都港区北青山 3-3-5 東京建物青山ビル 7F
 TEL：03-6447-5041
 FAX：03-6447-5042
 E-mail：y.okawa@union-tec.jp
 URL：union-tec.jp

関東支部
 新入賛助会員（2023 年 12 月現在 入会順）



株式会社 プラン・ドゥ・モトハシ
 担当：藤原 巧
 東京都練馬区下石神井 3-9-10
 ガーデンハウス・ベル石神井 1-101
 TEL：03-5923-6505
 FAX：03-3904-1920
 URL：http://www.plando-group.co.jp



株式会社 丸紘
 担当：光宗 一城
 神奈川県川崎市高津区新作 6-2-61
 TEL：044-863-2167
 FAX：044-863-2168
 URL：https://marukoh1971.co.jp/



Magis Japan 株式会社
 担当：石村 成世
 東京都港区北青山 1-2-3 青山ビル 1F
 TEL：03-5411-6877
 FAX：03-5411-6878
 URL：https://magisjapan.com/



株式会社 SPIVER Japan
 担当：神戸 健一
 神奈川県川崎市高津区新作 6-2-60
 TEL：080-8098-5536
 FAX：044-870-0862



株式会社 バービッシュ
 担当：神戸 健一
 神奈川県川崎市高津区新作 6-2-60
 TEL：080-8098-5536
 FAX：044-870-0862
 URL：https://barbishpaint.com



コセンティノ・ジャパン 株式会社
 担当：小高 久美
 東京都港区南青山 6-4-14INOX 青山
 TEL：03-6635-9348
 URL：http://www.cosentino.jp